

IFRS対応業務構造改革サービスのご紹介

# IFRS (国際財務報告基準) クイックアセスメント



IFRS対応を見据えた業務・システム・業績管理に必要な改革の洗い出しと、ロードマップの策定

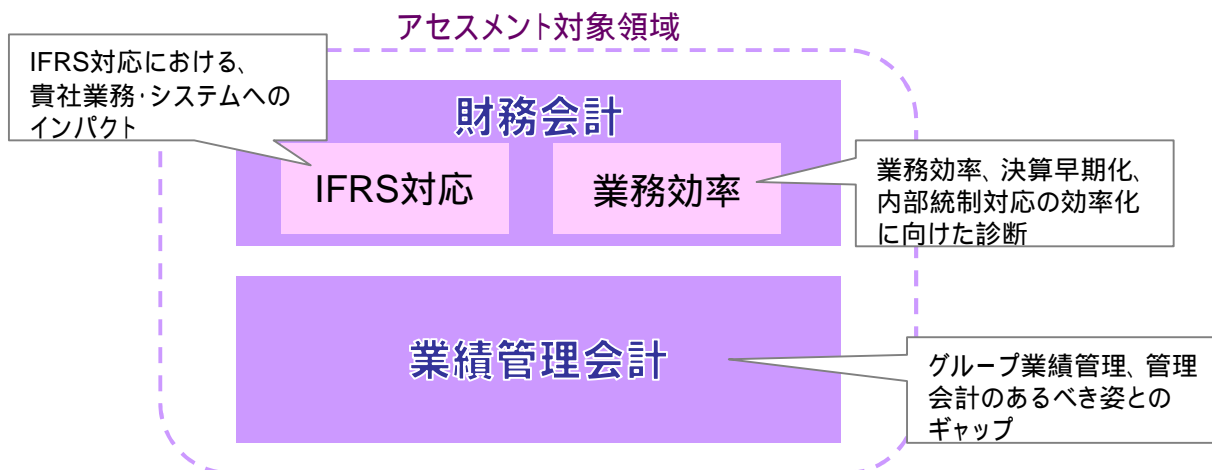
## IFRSクイックアセスメントとは

- IFRSの強制適用が2015年または2016年に実現する可能性が高まる中、IFRS制度対応だけでも、2～3年程度経理部門を中心とした対応負荷がかかるといわれています。一方で自社がIFRS適用に向けて対応すべきポイントがどこにあるのが不安に感じている企業も多いのではないのでしょうか
- NECではいわば「不安を可視化」し、今後検討し取り組むべきテーマとスケジュールを明確にする、IFRSクイックアセスメントをご提供いたします。

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
企業のIFRS対応	・IFRSの影響が大きい業務は？ ・システムや業績管理の見直しは必要？ ・子会社対応はいつから？ ・他に計画しているプロジェクトとの優先順位、関係は？			日本におけるIFRS強制適用判断時期		移行日 比較対象年度(並行開示)	報告日 適用初年度

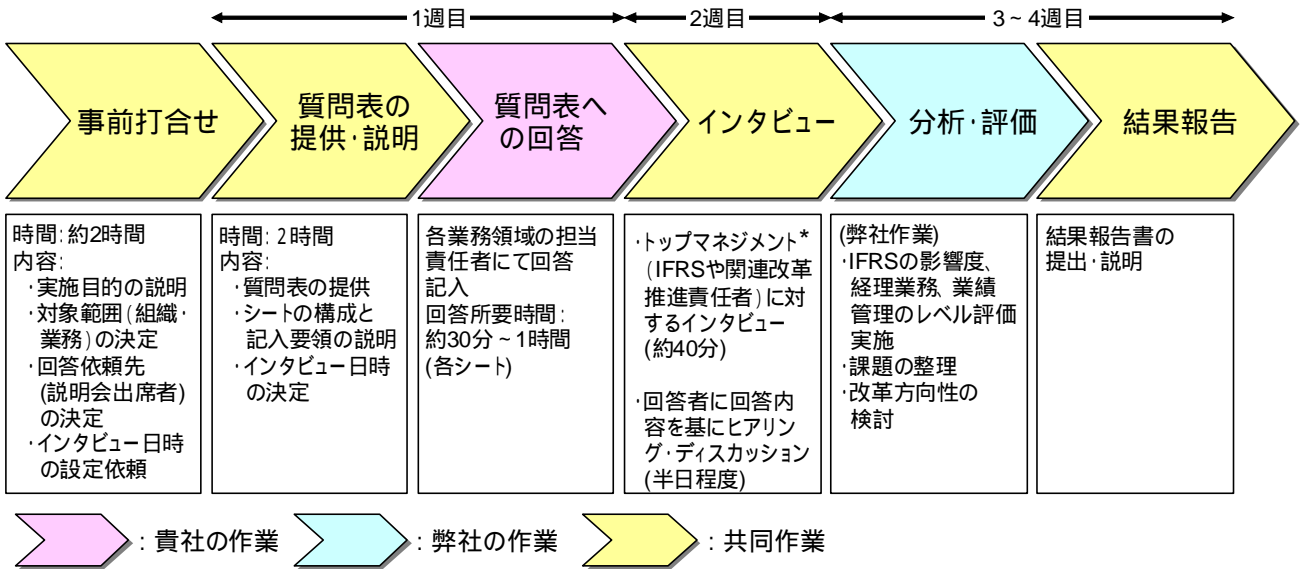
## IFRS制度対応だけでなく、業績管理・経理業務視点を包括したアセスメント

- 制度対応としてのIFRSの影響だけでなく、グループの業績管理・経理業務効率化視点も含めてアセスメントを実施いたします。
- それによって、決算早期化や会計システム再構築、グループ経理業務の標準化・集約化、内部統制効率化、基幹業務システムの刷新など、さまざまな改革が必要かどうかを診断し、改革に向けた総合的なロードマップを描きます。



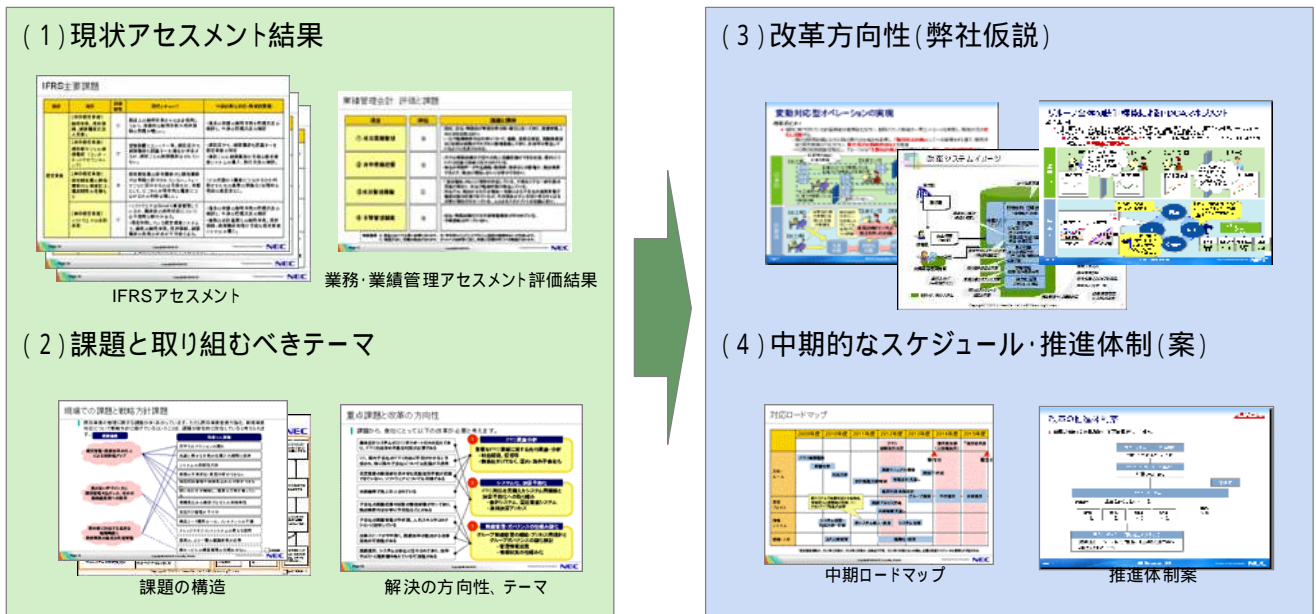
IFRSクイックアセスメントの進め方

- 質問表とインタビューによる調査を行い、約一ヶ月で報告書をご提出いたします。



アセスメント結果報告書 内容イメージ

- IFRSに関して会計基準領域別の業務・システム課題と経理業務課題を抽出し、今後より深く調査すべき事項や課題に対する改革の方向性、施策仮説、ロードマップ等をご提案いたします。



お問い合わせは、下記へ

NEC コンサルティング事業部

TEL:03(3798)9279 FAX:03(3798)9809 MAIL: contact@consul.jp.nec.com

URL: http://www.nec.co.jp/service/consult

RAPID (Reengineering Approach with Practical Information Technology Design) は、NECの登録商標です。

本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

本製品(ソフトウェア含む)が、外国為替及び外国貿易法の規定により、規制貨物等に該当する場合は、日本国外に持ち出す際には日本政府の輸出許可申請書等必要な手続きをお取りください。

本紙に掲載された製品の色は、印刷の都合上、実際のものとは多少異なることがあります。また、改良のため予告なく形状、仕様を変更することがあります。